



名証メイン市場・東証スタンダード市場

証券コード:9221

フルハシEPO株式会社

会社説明資料

名証IRセミナー

2023年1月13日

1. 会社概要

2. 事業概要

3. 業績・株主還元

4. トピックス

社名	フルハシEPO株式会社（英語名 FULUHASHI EPO CORPORATION）	
上場証券取引所	名古屋証券取引所 メイン市場、東京証券取引所 スタンダード市場 証券取引コード:9221	
創業	1947年12月	
設立	1948年 2月	
本社	名古屋市中区金山一丁目14番18号	
資本金	572百万円(2022年9月末)	
従業員数	452名(連結:2022年9月末)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオマテリアル事業 ● 資源循環事業 ● 環境物流事業 	
許可	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">● 建設業許可 <li style="width: 50%;">● 一般廃棄物処分業許可 <li style="width: 50%;">● 産業廃棄物処分業許可 <li style="width: 50%;">● 古物商許可 <li style="width: 50%;">● 産廃収集運搬業許可 	
関係会社	<ul style="list-style-type: none"> ● 連結子会社:6社（国内4社・海外2社） ● 持分法適用関連会社:2社(ともに国内) 	

経営理念

世のため 人のため 地球のため 社員のため
持続可能な社会を創造します

FULUHASHI Spirits[行動指針]

世の中にとって必要か？正しいか？環境にやさしいか？

1. 新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
2. お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
3. プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
4. 知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組みます。
5. 豊かなところでユーモアを忘れず仕事を楽しみます。

環境配慮、社会性、企業倫理を含めたコンプライアンスに対する意識の徹底を図ると共に、様々なステークホルダーとの持続的な経営を推進

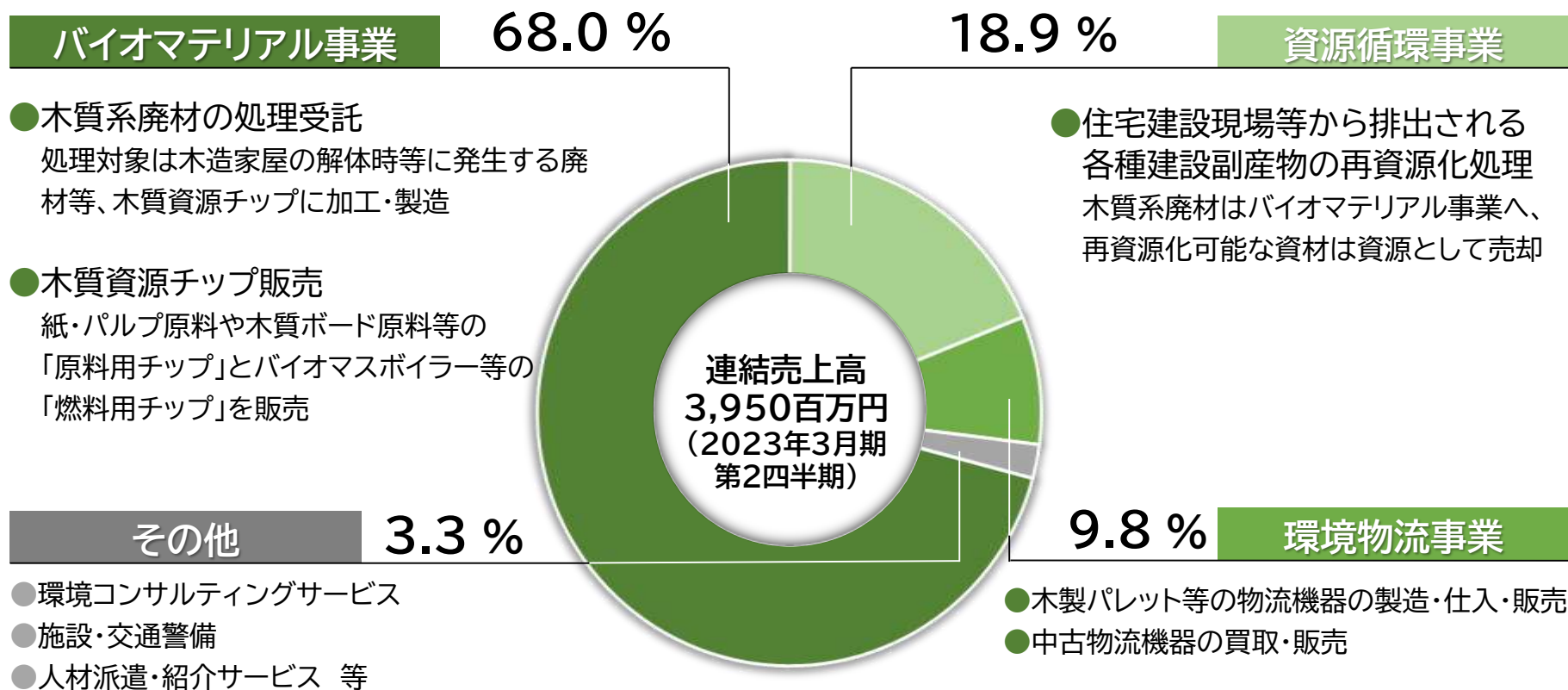
1. 会社概要

2. 事業概要

3. 業績・株主還元

4. トピックス

バイオマテリアル事業、資源循環事業、2つの事業を柱に 総合的な環境ソリューションを展開



(注)各セグメントの外部顧客への売上高を連結売上高で除して売上割合を計算しております。

バイオマテリアル事業の概要

廃棄物排出事業者等から木質系廃材の処理を受託し、
当社工場で木質資源チップに加工・製造し販売

■木質バイオマスの資源化の流れ



当社が参画するバイオマス発電事業

国内2か所でバイオマス発電事業に参画、新たな需要を創出し、
年間17万トン超の燃料チップを安定的に供給



川崎バイオマス発電所 (2011年2月運転開始)

●川崎市の厳しい環境基準をクリアした「都市型バイオマス発電所」

[共同出資]

住友共同電力(株)、
住友林業(株)

[燃料チップ年間使用量]
約180,000t

[発電出力]
約33,000kW(発電端)

[CO2排出削減量]
年間約12万トン



<川崎バイオマス発電所とジャパンバイオエナジー(株)>

当社が参画するバイオマス発電事業

国内2か所でバイオマス発電事業に参画、新たな需要を創出し、
年間17万トン超の燃料チップを安定的に供給

 **CEPO半田バイオマス発電所** (2019年10月運転開始)

●燃料である木質資源チップは、隣接の愛知第七工場で製造しコンベアで搬入

[共同出資]
(株)シーエナジー
〈中部電力グループ〉

[燃料チップ年間使用量]
約140,000t

[PKS年間使用量]
約150,000t

[発電出力]
約50,000kW(発電端)

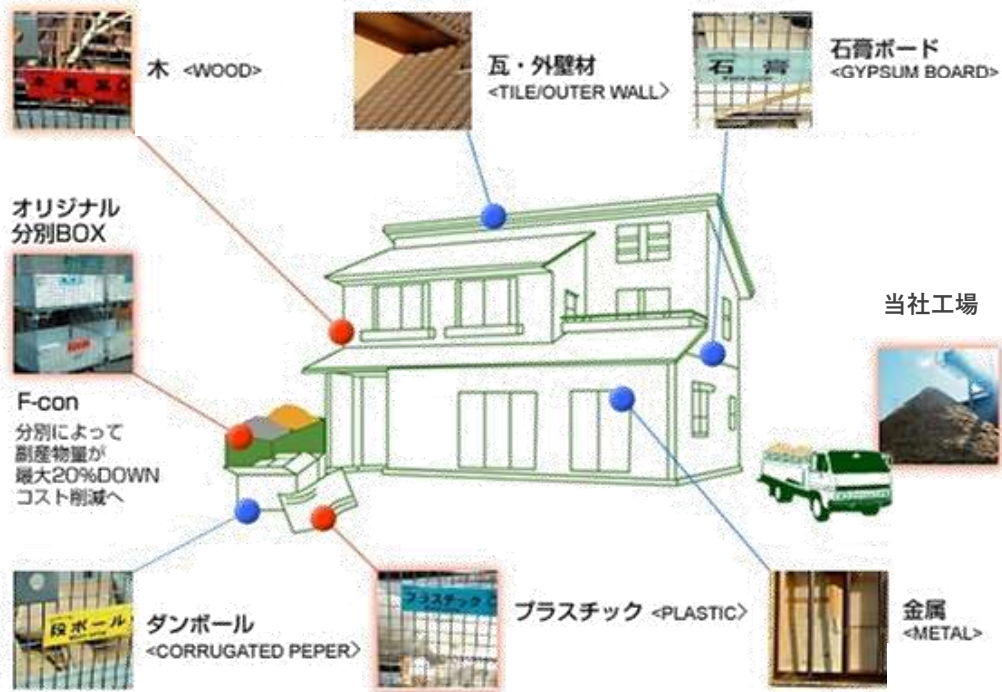
[CO2排出削減量]
年間約15万トン



<CEPO半田バイオマス発電所と当社愛知第七工場>

住宅建設現場等から排出される各種建設副産物(廃棄物)を 収集運搬し、当社グループ工場で中間処理による再資源化

■新設住宅の建設現場から生まれる様々な資材の副産物



当社グループで取扱う産業廃棄物7品目

- 木くず
- 廃プラスチック類
- 紙くず
- 繊維くず
- 金属くず
- ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
- がれき類

集荷

**再資源化率
81.4%**

当社グループ工場

選別、再資源化等の中間処理
再資源化 ⇒ 副産物として販売

出荷

【木くず】 バイオマテリアル事業を行う各工場へ

【その他】 資源循環事業の各工場での再資源化
& 中間処理業者に委託して再資源化

*最終埋立処分が必要な廃棄物は、最終処理業者へ外注委託・処理

1. 需要地域への包括的な拠点展開

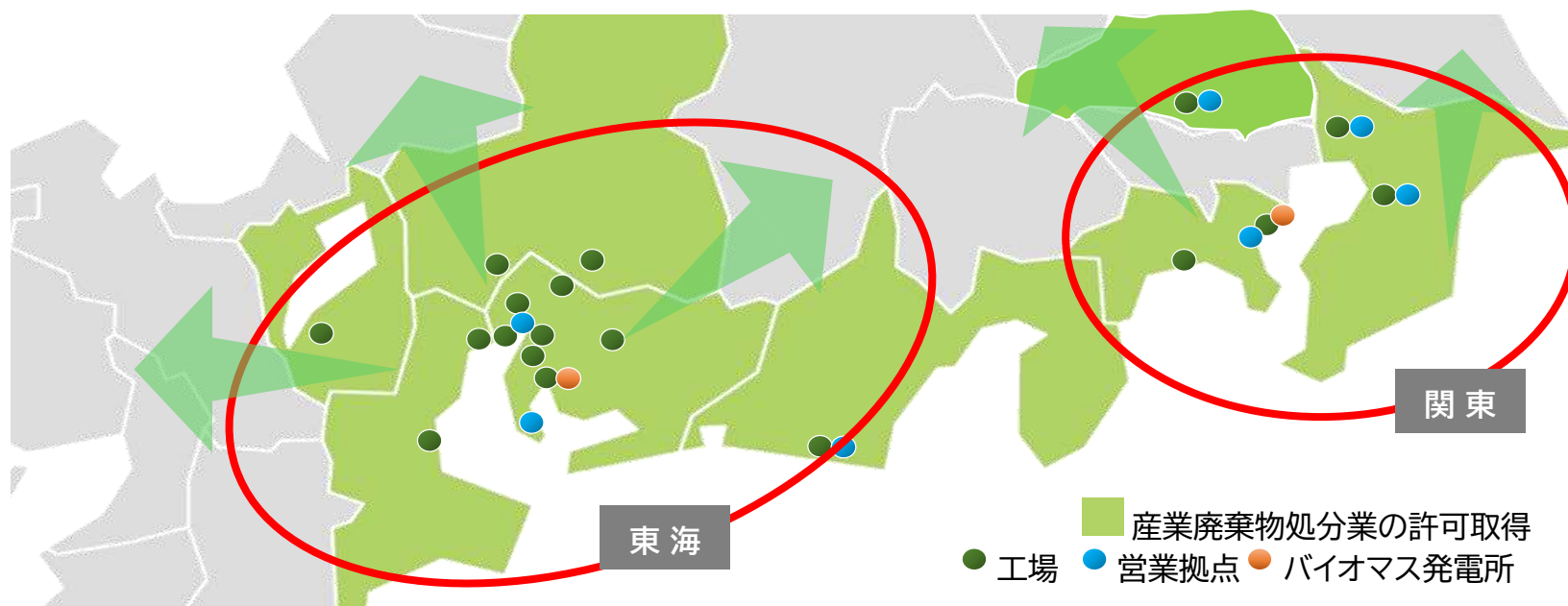
- 木質廃棄物処理拠点の新設及び資源循環事業拠点の併設
(多角的な収益源の確保と分散)

2. 木質バイオマス発電への積極的な参画

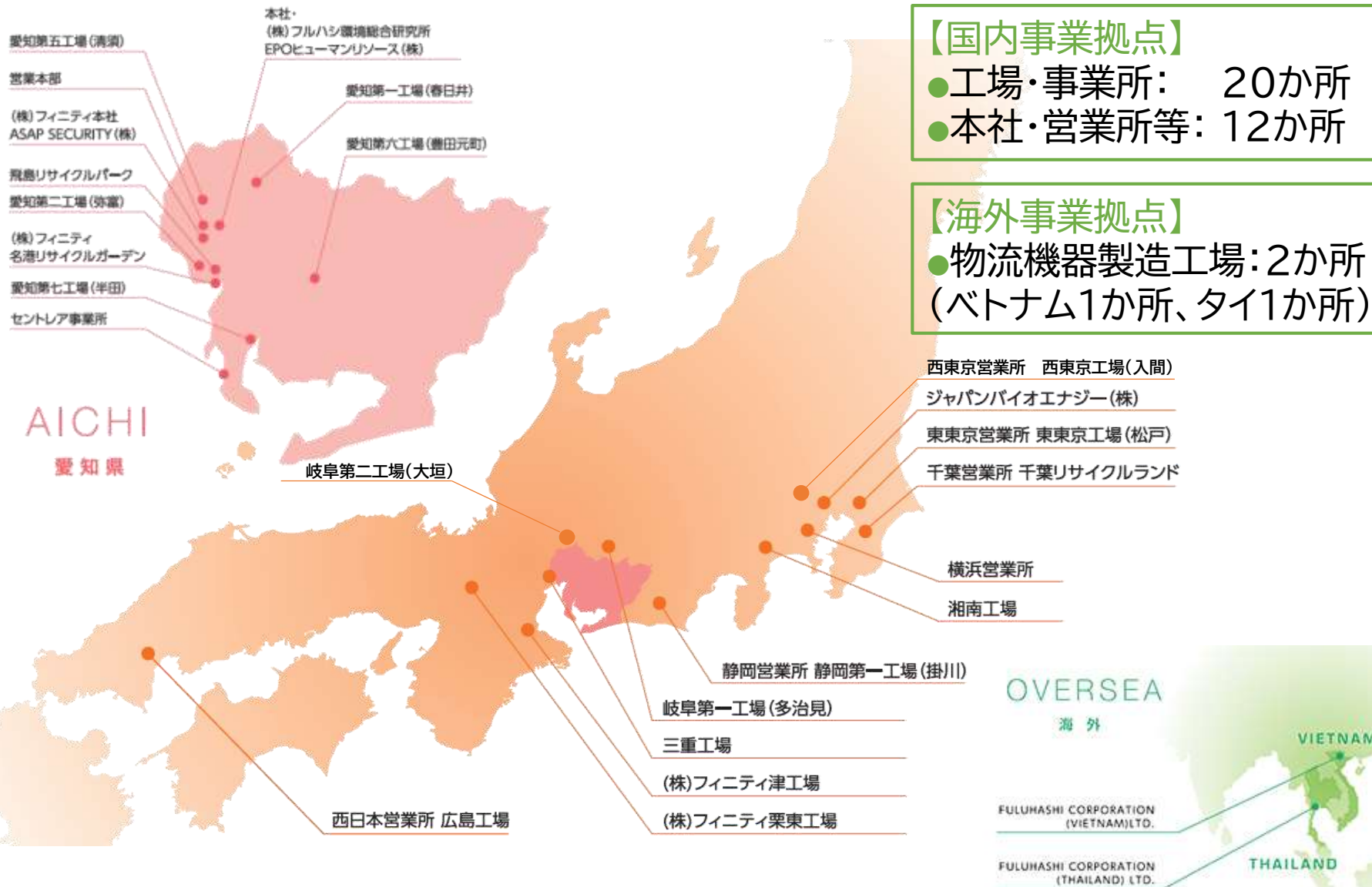
- 木質燃料チップ需要の創造
- 輸送面でのコスト及び環境負荷(CO2)の削減

SDGsへの寄与

再生可能エネの創出
資源循環の促進



当社グループ拠点



1. 会社概要

2. 事業概要

3. 業績・株主還元

4. トピックス

前期比に対して、売上高、各段階利益ともに増加

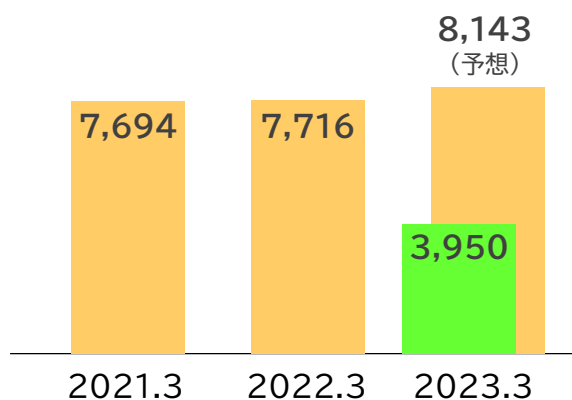
(単位:百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (5月12日当初計画)	修正額	2023年3月期 (11月14日修正計画)	前期比
売上高	7,716	8,143	—	8,143	105.5%
売上総利益	3,390	3,620	—	3,620	106.8%
営業利益	787	850	—	850	108.0%
経常利益	837	880	167	1,047	125.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	569	635	116	751	131.9%

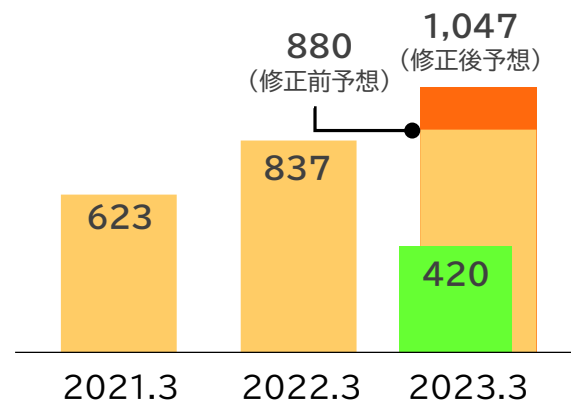
2023年3月期の計画通り着地すれば、 売上高、経常利益、純利益において過去最高

■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)

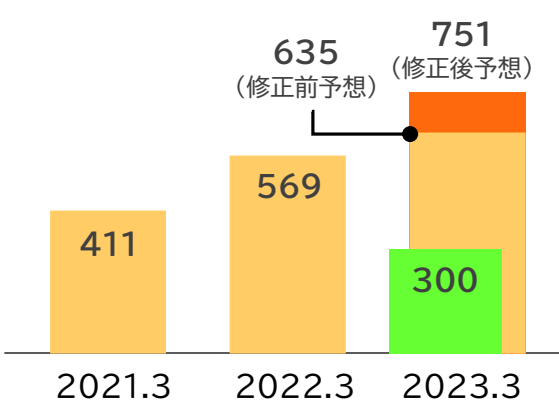
売上高



経常利益



親会社に帰属する四半期(当期)純利益



(注)1. 2021年3月期は、収益認識会計基準等の適用前の従来基準の適用です。

(注)2. 2021年3月期及び2022年3月期の第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、数値を記載していません。

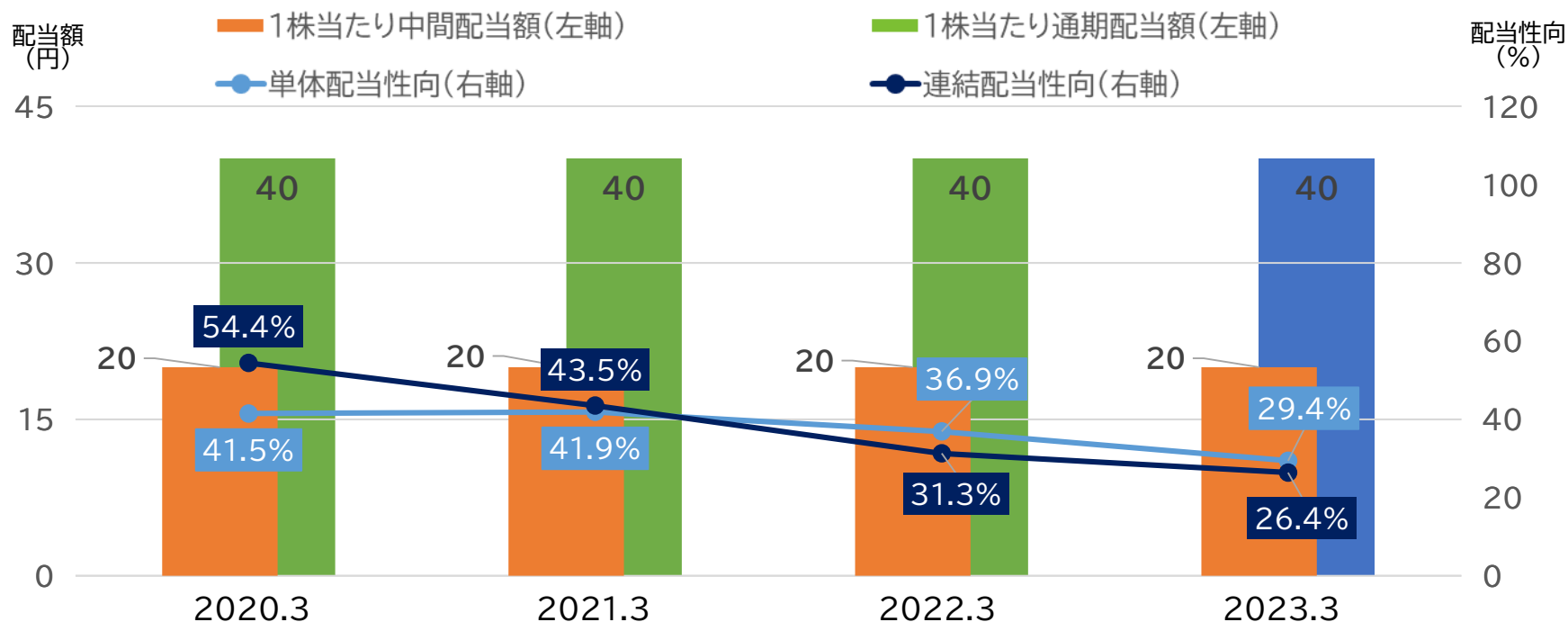
- 11月14日付で通期業績予想を上方修正
- 財務体質等の経営基盤のさらなる強化を目的として、役員等に付保しております、生命保険の解約に伴い167百万円を営業外利益に計上見込み

配当方針

配当については、安定性・継続性に配慮し、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施の方針。

配当性向は30%を目途に株主還元として配当を行う方針。

配当金・配当性向



(注)連結配当性向は、有価証券届出書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出しております。

1. 会社概要

2. 事業概要

3. 業績・株主還元

4. **トピックス**

供給効率の高い工場として市場強化、業績拡大に寄与するとともに
持続可能な低炭素エネルギー社会の構築に貢献

1) 岐阜第二工場(大垣)

岐阜県内2カ所目のバイオマテリアル事業の工場として2022年5月に稼働

住所	岐阜県大垣市浅草三丁目135番地
許可番号	第02120028236号(岐阜県)
生産量	30,000t/年



2) 西東京工場(入間)

埼玉県初のバイオマテリアル事業の工場として2022年11月に稼働

住所	埼玉県入間市狭山台三丁目9番5
許可番号	第01120028236号(埼玉県)
生産量	30,000t/年



環境面での社会要請に確実に応えながら、 成長分野をさらに拡大することで、永続的な成長を目指す

【(株)日本総合研究所からセカンドパーティ・オピニオンを取得】

当社グループの事業内容及びIPOにおける資金使途が「グリーンボンド原則2021」の特性に準拠し、SDGsにも貢献しており、特に以下の目標への貢献が期待できるとの評価をいただく。

- 目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 目標12 つくる責任 つかう責任
- 目標15 陸の豊かさも守ろう

事業区分

該当するSDGs目標

資金使途対象プロジェクト

完了(予定)年月

バイオマテリアル事業
(再生可能エネルギー)



岐阜第二工場

2022年5月完了

西東京工場

2022年11月完了

愛知第八工場

2024年10月

資源循環事業
(汚染防止及び抑制)



掛川リサイクルガーデン

2023年4月

新千葉リサイクルガーデン

2023年10月

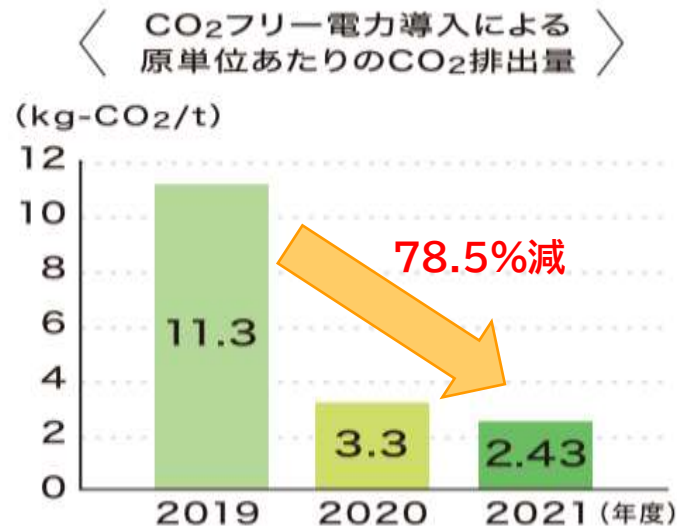
湘南リサイクルガーデン

2023年10月

企業活動を通じて社会課題の解決に積極的に貢献

●CO2フリー電力の導入

愛知第七工場(半田)において2020年4月にCO2フリー価値つき電力を導入。
この電力の導入により、2021年度は原単位のCO2排出量は2019年度より78.5%削減。



●電動重機の導入

岐阜第二工場(大垣)においてガソリンを使用しない電動重機を導入



カーボンニュートラルの実現に向けた事業展開



主なサービス

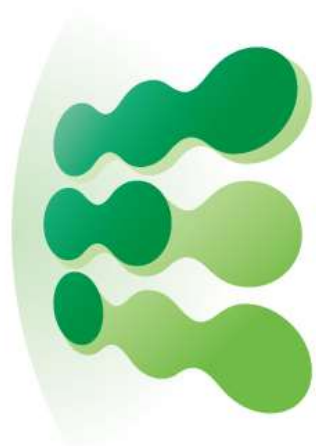
- カーボンニュートラル人材育成事業の受託及び対応支援サービス
- 「LCA(ライフサイクルアセスメント)」算定サポート
- SDGs戦略策定支援



愛知県中高年シニア環境学習推進事業「あいちecoティーチャー」



「海岸漂着物環境学習プログラム」モデル授業(愛知県委託事業)



環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

フルハシEPO株式会社 総務部

フォーム: https://www.fuluhashi.co.jp/contact_ir.html

TEL:052-324-9088